

1. システム概要

- 本システムは、電気錠扉3箇所、オートドア制御器1箇所、ELV制御器および宅配BOX、メールBOXを対象とします。
 ・入館、入室制御を行う電気錠扉(オートドア)扉にはタッチリーダを設置し、登録されたタッチキーをかざすことで、電気錠(オートドア)を解錠します。
 また同時に風除室では、ELVを呼び出します。
 ・オートドア制御器およびELV制御器には無電圧a接点を出します。
 ・入館、入室制御を行うオートドア扉にはキースイッチを設置し、キースイッチを回すことでオートドアを開閉します。
 オートドア制御器には無電圧a接点を出します。
 ・ELVかご内にはタッチリーダを設置し、登録されたタッチキーをかざすことで、ELV制御器にキーデータ(ゲート番号+部屋番号+送信機番号)を通信出力します。
 ・宅配BOX、メールBOXと連動させることにより、登録されたタッチキーで宅配BOX、メールBOXの取物が取れます。
 インターホン制御器と連動して、入館時に専用の集合玄関機(着荷表示機能付)で登録されたタッチキーをかざすことで、宅配BOX、メールBOXに荷物があるかどうか確認できます。
 ・インターネットに接続される美和ロック製の機器は、MIWA Supportによりファームウェアを最新の状態でアップデートできます。
 ※他社との連動に関しては、別途打ち合わせが必要です。

- (1) 管理入室に、電気錠制御盤(BAN-VS4)を1台設置し、接続される電気錠扉を集中して制御・監視・操作します。
 電気錠制御盤(BAN-VS4)は、
 1) 各電錠状態(開閉、解除、警報)を操作盤面上に表示します。
 2) 盤面操作により、各層(電気錠)を個別に解錠/施錠/一回解錠できます。
 3) 盤面操作により、制御している層(電気錠)を一旦に解錠/施錠できます。
 4) 火警報からの火災警報信号により、制御している層(電気錠)を一旦に解錠します。
 復旧は、火報入力切れた後、操作盤面上の各回線の施錠ボタンを押すことで行います。
 5) 扉付近に設置されているタッチリーダに、登録されたタッチキーをかざすと、該当層(電気錠、オートドア)が解錠し、扉を開けて、閉めると施錠します。扉を開け閉めでも、設定時間が経過すると自動的に施錠します。(Aモード)
 ※LTEによる無線通信機能を内蔵しており、自動でソフトウェアのアップデートが可能です。
 ※LTEによる無線通信ができない場所に設置する場合は、弊社ホームページよりアップデートファイルをダウンロードし、アップデートしてください。

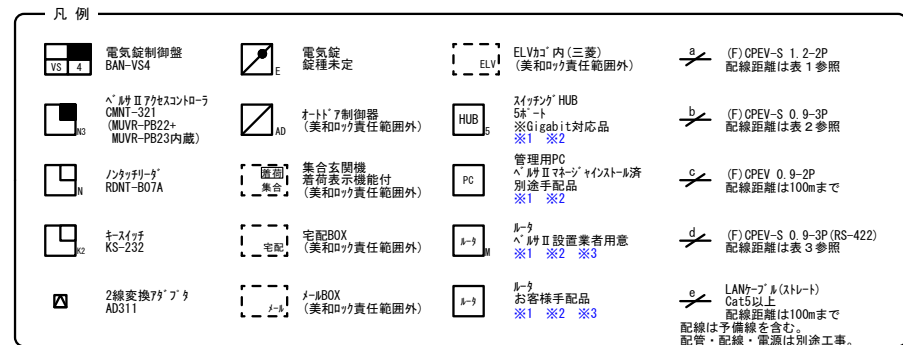
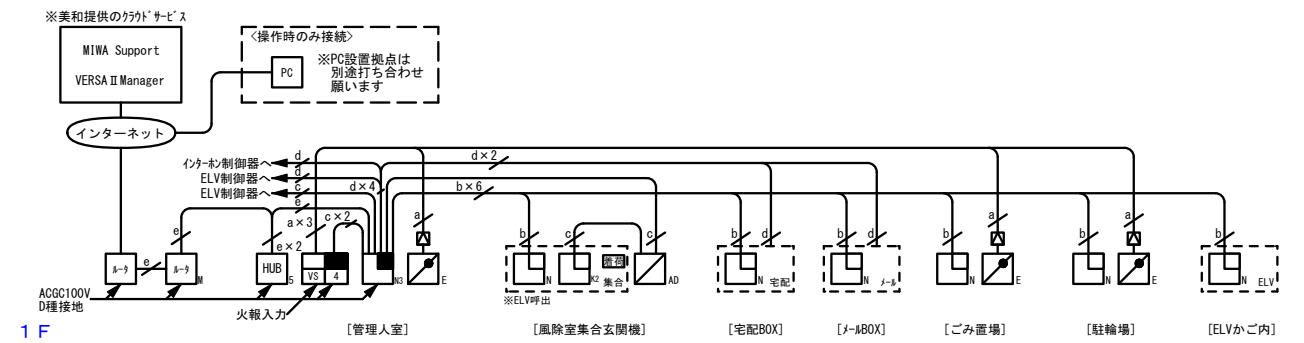
- (2) 管理入室に、ベルサIIアクセスコントローラ(CMNT-321)を1台設置します。
 ベルサIIアクセスコントローラ(CMNT-321)は、
 1) タッチリーダの検出・検出履歴の確認、設定・運用の変更はインターネットを介して美和ロックが用意するサーバー上で行います。
 インターネットに接続できる環境とベルサIIマネージャが必要となります。
 2) タッチリーダからのキーデータを照合し、照合一致結果を外部機器に接点信号(無電圧a接点 DC30V 0.3A以内)出力します。
 3) ベルサIIアクセスコントローラ(CMNT-321)1台のコントローラで6台のタッチリーダを制御できます。
 4) 登録(管理)できるタッチキーの数は、最大5000個です。
 5) 停電時には作動しませんが、登録されたキーデータが消えることはありません。
 6) 照合時にキーデータ(ゲート番号+部屋番号+送信機番号)をRS422通信で外部機器に6箇所まで出力します。(標準3台)
 ※MVR-PB22基板内蔵
 7) 接点出力ポート(MUVR-PB23)を増設することで、照合一致結果の接点出力を6接点まで増やすことができます。
 ※MVR-PB23基板内蔵
 ※対応するゲートおよび部屋番号の設定にはベルサIIマネージャが必要です
 ※サーバーに接続するためのローカルIPアドレスの付与、デフォルトゲートウェイ等の現地ネットワーク設定情報について別途打ち合わせが必要です。

- (3) 非接触式のタッチキーによる入館、入室制御およびELV、宅配BOX、メールBOXの利用制限を行うところには、タッチリーダ(RDNT-B07A)を設置します。
 タッチリーダ(RDNT-B07A)は、
 1) 登録されたタッチキーをかざす(約1~5cm)ことで、ベルサIIアクセスコントローラへキーデータを出します。
 2) 人体に安全な電磁誘導波を使用します。
 3) 電波法上の届け出義務は必要ありません。

- (4) キースイッチ(KS-232)を1台設置します。
 キースイッチ(KS-232)は、
 1) キーで操作している際、外部機器に信号(無電圧a接点 DC24V 0.1A以内)を出します。
 (5) ベルサIIマネージャをインストールした管理用パソコンを美和提供のクラウドサービスへ接続し、操作します。
 ベルサIIマネージャは、
 1) 1物件で最大512ゲートまで管理できます。
 2) 利用する各IDキーおよび各ゲートのデータを管理できます。
 3) 登録した部屋毎に、ゲートの進行検知・検出履歴等のタイムパターンを5パターンまで設定できます。
 4) ベルサIIマネージャを使用するためには、システムにログインするためのアカウントが必要です。
 5) ベルサIIアクセスコントローラに付属しているUSB登録リーダをパソコンに挿してID登録することができます。
 6) ログをモニターに表示できます。
 7) ベルサIIアクセスコントローラに蓄積された履歴(1台につき最大50000件の保存・表示)ができます。
 (ベルサIIマネージャは、ベルサIIアクセスコントローラが蓄積したログ(履歴)を取得することができます)
 取得したログ(履歴)は、指定の期間に限り画面に表示したり、ダウンロードすることができます。
 8) 部屋情報やID情報、ログ(履歴)をCSV形式でファイル出力できます。出力したファイルは、

- Microsoft Excel(Microsoft Office 2016以降)で閲覧することができます。
 【作動環境】
 対応OS : Windows 10 Pro(64bit)/Windows 11 Pro
 CPU性能 : Intel 第7世代Core-i5以上の性能
 メモリ : 最低8GB以上、推奨16GB以上
 ストレージ空き容量 : 最低8GB以上、推奨100GB以上
 USBポート : USB2.0×1系統
 通信ポート : LAN(10BASE-T以上)
 ディスプレイ : 1920×1080以上
 ブラウザ : PC版 Microsoft Edge/Google Chrome
 ユーザ権限 : 管理者

2. システム系統図



- 注)タッチリーダを近接設置する場合、検出距離を確保するため、各リーダは1m以上離して設置してください。
 ※1: 透気性の良い、安定性のある場所に設置してください。
 ※2: コンセントは掛け止め式を使用してください。
 ※3: ベルサII設置業者用者のルーチーはDHCPで接続するか、ベルサII設置業者用者のルーチーに設定したIPアドレスの払い出しをお願いします。
 ベルサII設置業者用者のルーチーを抜いていた場合は、ベルサIIアクセスコントローラのIPアドレスをご確認ください。

3. 外観図

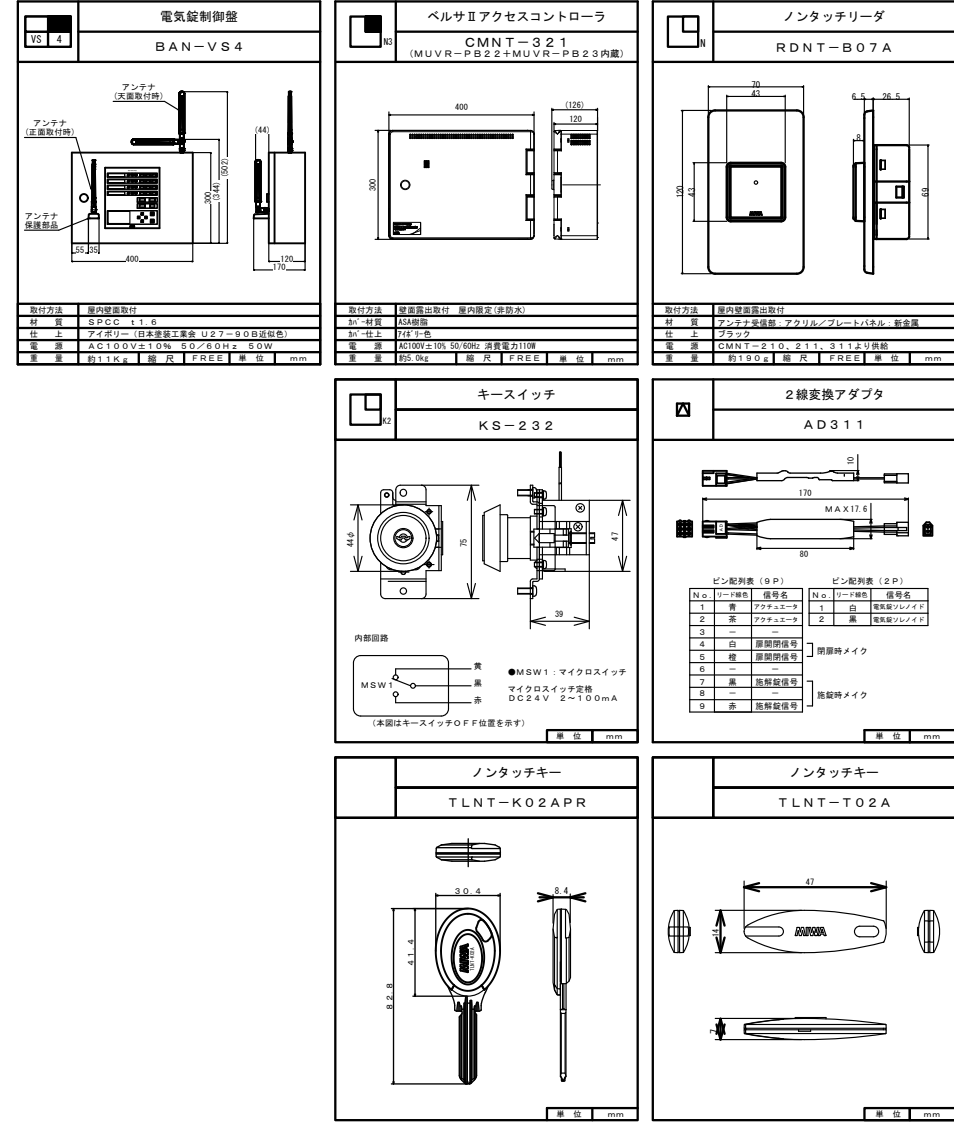


表1
 配線距離
 適用: BAN-VS4, BAN-VS8, BAN-VS12B, BAN-VS16B, BAN-VS20B, BAN-VS24B, BAN-VS28B, BAN-VS32B

電圧(V)/電流(A)	電気錠~制御盤間(m)			
	ASE	ALM ALN AFG	ALA ANS ALG AUS	AUT(A), ALGT, APBT, APPT(A), AUR(A), ALGR, APBR, APPR(A), ENLGR00, EL-101, AST, ASR, ADZ19(0.1~1.7)
DEN0-19C (断面積 0.3 mm²)	10	20	60	40
0.65 mm	20	25	60	60
0.9 mm	40	40	60	120
1.2 mm	60	60	100	180
1.6 mm相当	100	100	160	300
2.0 mm相当	160	160	250	480

表2
 配線距離
 適用: RDNT-B07A ~CMNT-220, CMNT-221, CMNT-321

リーダ~コントローラ	
線径(mm)	距離(m)
0.65 AWG22相当	50
0.9 AWG19相当	100
1.2 AWG16相当	200
1.6 AWG14相当	400
2.6 AWG12相当	1000

表3
 配線距離
 適用: CMNT-221, CMNT-321, CMML-221, CMML-321

外部機器~コントローラ配線距離	
線径(mm)	距離(m)
0.65 AWG22相当	100
0.9 AWG19相当	300
1.2 AWG16相当	500
1.6 AWG14相当	1000